

第24回市民との意見交換会・報告書（一箕地区）

開催地区：一箕地区	開催日時：令和3年11月17日（水） 18時30分 ～ 19時43分
担当班：第5班（出席議員）古川雄一、松崎 新、大山享子、村澤 智、後藤守江	
開催場所：一箕公民館	
参加人数：男性 9名、女性 2名、合計 11名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
<p>1. 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>事前に一箕小学校PTA役員の方と「子どもの遊ぶ場所、扇町1号公園」について話を伺い出席をお願いしたところ、3名が参加し、発言をいただいた。区長会の役員の方とは準備期間の関係で事前に話ができなかったが、当日参加された方からも扇町1号公園の在り方について意見交換ができた。また、市政報告については、議会が条例改正を議決した敬老祝い金についての経過となぜ判断したのかを問われ、話し合いができた。さらに、市が進める市民参加について、扇町1号公園の在り方、スーパーシティの進め方についても意見を深めることができた。</p>	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
<p>要望したいことがある。現在、石油価格の高騰が続いている。国は、ガソリン価格が1リットル170円以上になれば、元売り各社に対し1リットル当たり5円の補助を行うと報道があった。市民の中には、生活に苦しくて暖房を取るための灯油を節約している方がいる。市に対して灯油を含めた暖房費の補助を12月議会に陳情として出したい。よろしくお願します。</p>	<p>国のガソリンの補助についてはまだ決まったわけではない。福祉灯油については、定例会に陳情が出されて判断することになる。</p>	○	①	社会福祉
<p>スーパーシティの取組について。市の主催でタウンミーティングが開催され出席し、スーパーシティについて説明された。その中で、スーパーシティについて住民の意向を誰が判断するのか問われ、答弁は、「国から3つの確認方法案として出されている。1つは協議会の議決、2つは議会の議決、3つは住民投票である。さらに、スーパーシティについて議会は直接関係ない」との説明があった。議会は外して計画を進めるのか疑問に思うが、議会の説明を聞きたい。</p> <p>また、「情報はオプトイン方式であくまでも本人が参加の意思表示をするので、全ての人の情報を使うのではない。そして、個人情報の漏洩はしない」とも説明された。私は、個人情報がさらされる状態になるのではないかと危惧する。個人の情報を企業が自由に使うことに対し不安である。</p>	<p>議会とスーパーシティの関わりについては、これまで定例会や総務委員会協議会の中で説明があった。また、スーパーシティについて予算が計上されれば、議会の議決が必要となり議会に係ることになる。スーパーシティについて誰が認めるのかについては、会津若松市が区域会議を設置し、選択することになる。それが、1つは協議会の議決、2つは議会の議決、3つは住民投票である。議会は、スーパーシティについて市民や企業にとってのメリット、デメリットは何なのか調査、研究をし、議長の下でスーパーシティについて新たな会を立ち上げ協議しようとしているところである。執行機関は、計画や方針が決まらないとタウンミーティング等で説明できないことをご理解いただきたい。</p> <p>個人情報については、議会はさまざまな問題について認識しており、個人情報の管理については適切に行っていく。本市のデータが漏洩している事実はないのでご安心いただきたい。</p>	○	①	まちづくり

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
会津若松市では情報は漏れていないが、一部自治体では漏れている。スーパーシティを行政が進めるとき、議会のかかわりを求めているのか。	3つの選択肢がある。協議会の議決であれば誰が選ばれどのように決めるのか。また、住民投票であれば条例をつくらなければならない。となれば、議会の議決になるのではないかと、との考えがある。国に申請して協議し、進めることとなる。この1、2年で進む計画ではないと考えている。	○	①	まちづくり
敬老祝い金について聞きたい。昨年、今年はコロナ禍のため敬老会が中止となり、一箕地区が開催している「ふれあい昼食会」を開催できなかった。民生児童委員会で協議し、代わりとなる75歳以上ひとり暮らしの方々に「ふれあい訪問活動」を行い、マスク10枚・バウムクーヘン・せんべいを入れて戸別配布を行った。そこで出されたのが敬老祝い金についてである。今年から記念品が廃止され、祝い金は、88歳で1回限りの給付に変わった。この事業が変わったこと、の経過が、民生児童委員会として分らなかった。住民からは、高齢者を切り捨てたのか、他の地区では独自の祝い金が出たそうだ、記念品が出たなどの話が出され、一箕地区はなぜ支給しないのか不満が出された。 そこで議会に聞きたいのは、記念品の廃止と敬老祝い金が88歳で1回しか出されなくなったこと、の理由。また、地区のボランティアを行うとポイントが給付される事業が新たにできたこと。こうした事業の経過と議会の協議内容について聞きたい。	敬老会について、コロナ禍の中で中止となったことは致し方ないことだと考える。 敬老祝い金の条例改正は、議会でも議員の意見が分かれた。財源について市の収支の試算が出され、また、条例改正により88歳で1回だけの支給に変更となった。また、条例改正で祝い金をもらえない方も出てくることになる。結果、条例改正になった。	● ○	①	議決責任 高齢福祉

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
<p>議会は、敬老祝い金を廃止して、子ども・子育て支援に向けた財源にしたということか。市議会としては賛成したということか。だが、なかなか納得しない方がいる。他の地区はいくらもらったようだとの誤解があった。敬老祝い金について、当事者に対し、民生児童委員として丁寧な説明を行う必要があると感じたが、経過に対する情報が少なく、説明しきれなかった。ただ、今の意見交換で経過が分かった。</p>	<p>考え方はさまざまある。市の予算を見ると高齢者の予算より子ども・子育てに対する予算の方が少ない。また、市民から地域の要望も出され、議会も市の執行機関も市民要望に応えたいところだが、予算総額を増やすことは難しいことである。敬老祝い金について悩んだのは事実である。全市のサービスを行いたいが多くができない。地域の特性を生かすことになるのではないかと考える。他市の事例では、地域づくりの財源として敬老祝い金や区長手当を廃止してその財源を新たな事業、まちづくりや子ども・子育て支援に使っている。そうしたことであればと条例改正の判断をした会派もある。</p> <p>また、福祉ボランティアに対するポイントの財源に振り分けることについては、一部の方だけの利用になってしまうのではないかとの疑問を行った。最終的にはやむなしで賛成したが、本市の事業の見直しをしなければならない。議員はそこで悩んだ。執行機関だけが悪いとは思っていない。議会の議決があり執行できるので、議員は本当に悩み苦渋の選択をしたところである。</p>	● ○	①	議決責任 高齢福祉

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
<p>市民との意見交換会に参加して直接顔を合わせ、人と人の会話をすることや気持ちのやり取りの大きさを強く感じた。</p> <p>会津若松市は、市政だよりでスーパーシティ特集を組んでいるが、私は理解できていない。本日スーパーシティについての発言があった方の意見をぜひ受け止めていただきたい。そして、不安があることを理解していただきたい。今も、緊張して参加し、そして発言している。こうした市民の声に寄り添っていただきたい。子どもたちの未来、私たちは、どんな会津若松市を残していけるのか、会津若松市はどのように進もうとしているのか。スーパーシティが何をやるのか、市長は市民の意見を聞き進めると発言している。信じたい。市民の意見を聞いてほしい、置き去りにしてもらいたくないと考えている。</p>	<p>スーパーシティについての考えがあれば聞かせていただきたい。</p> <p>本日、政策討論会第1分科会が主催したスーパーシティについてのセミナーを受けてきた。スーパーシティについて大枠の事業の方向性について説明されたが、私もイメージが湧かない。市民が利用しているサービスが具体的事例で良くなるのかの説明があれば理解するが、そのようにはなっていない。住民説明を丁寧に行い、拙速にならないように意見を言っている。</p>	○	②	まちづくり
<p>私は、スーパーシティに不安で、市のタウンミーティングに参加し、スーパーシティの取組を聞いた。良い面はあるが、質問と答弁を聞いて不安が募った。例えば薬剤士の方の質問で、医療行為に対する規制緩和により、医師と薬剤師の役割分担が変わる。そこで報酬も変わることになるが、市外の大手の薬局が規制緩和後、会津若松市に進出してきて市場に参入することによる既存の薬局はどうなるのか。という質問に対する答弁はよく分からない内容であった。質疑を通して感じたのは、確かにスーパーシティは人口減少を抑えるための取組だが、新たな大手企業の進出、オプトインといっているが個人情報盗まれないのか、漏洩しない確証があるのか。心配である。また、私の周りの人はスーパーシティの取組を気にしていない、知らない人が多い。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	○	②	まちづくり

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
扇町1号公園とスーパーシティの進め方は、同じような手法であると感じている。市は、計画を立てたので、市民の意見を聞き計画に反映させたいと説明しているが、市民の声を聴いて計画を進める気があるのか。扇町1号公園はいつの間にか植樹祭が行われてしまった。あずまやの寄付があるという。役所の人間が決めて進んでしまっている。同じくスーパーシティも役所が決めて進めている感じを受ける。つまり、手法は同じで残念ではない。市民に見えてこない。市議会議員は、事業を進める際きちんと市民参加を求めていただきたい。市民参加が見えてこない。これからは共生社会である。大きなテーマ、コンセプト、手法が大事であると考え。	議会は、事業計画を立てて進めるためには丁寧に行わなければならないと考えている。行政も市民の意見を聞き計画を立て、丁寧にやってくれると信じている。市民に見えてこないとすればきちんと見えるようにしていかないといけない。議会、執行機関は、丁寧な説明をしなければならぬ。本日、ご意見を出していただきありがとうございます。	○	②	まちづくり 公園

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 子どもの遊ぶ場所、扇町 1 号公園

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	扇町 1 号公園は、今年度と来年度で公園整備を進める予定である。市の担当部局は、公園整備を進めるため、住民の意見や要望を聞き公園の整備をしていく考えを出している。本日の意見交換会では、「子どもの遊ぶ場所、扇町 1 号公園について」を議題として、皆さんや子どもさんの意見などをお聞かせいただきたい。			
子どもが遊ぶのに、安全な場であり、安全な遊具、そして水遊び、雪遊び。盆踊りができ、団体が公園の一部を借りることのできる公園であればよい。	ご意見ありがとうございます。	○	②	
	扇町 1 号公園においてボールで遊びたいとの要望が出された。会津若松市の公園の現状は、当初ボール遊びを認めていたが、近隣住民から子どもの声がうるさい、ボールが壁やガラスにぶつかるなどの苦情が寄せられ、ボール遊びが出来ない公園が出てきている。近隣住民の理解がないとボール遊びもできない現実がある。先ほど出された、噴水と水遊びが出来るスペースについては具体的にどのような公園か。			
私は、本宮市親水公園や猪苗代町のカメラーナに遊びに行くがそうした公園では噴水と水遊びが出来るのでそういったイメージの公園が良いと考える。	ご意見ありがとうございます。	○	②	
私が行っている公園には駐車場があるが、扇町 1 号公園には駐車場が設置されるのか。	青写真には、南西と北西の 2カ所に駐車場の設置を予定しているようだ。	○	②	

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 子どもの遊ぶ場所、扇町1号公園

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	公園の整備がされていないとの意見があったが、担当課の話では、これから住民の皆さんの意見を聞いて進めたいと言っている。 考え方だが、例えば、オリンピックの種目に採用され、金メダルを取った競技にスケートボードがある。もし住民の方から、スケートボードが行える公園整備という希望が出されれば、要望事項として協議する項目に入ることとなる。具体的にどのようなことを求めたいのかお聞きする。			
扇町1号公園をつくるのに際し、担当課は子どもたちからアンケートを取ったのか。新しく出来る公園に子どもたちが何を求めているのかを把握しないと、公園を造っても子どもが利用しないのではもったいないと考える。また、公園の利用、安全面の工夫も要望したい。	ご意見ありがとうございます。	○	②	
郡山市の大槻公園は、遊びに行きたい公園である。扇町1号公園も行ってみたい公園となるよう造るべきだ。公園内に小さな山や川があり、日陰もあるとよい。遊べる場所は、子どもたちの視線で考えてもらいたい。	例えばビオトープのように自然に親しむことのできる環境が大事だと考える。遊具も設置したいですね。 また、「あずまや」は、奉仕団体が寄付する予定と聞いている。	○	②	
扇町1号公園について。新しく出来る公園では、団体が何か催し物をしたいとの希望が出たとき、時間を区切り場所を占有することも認めてもらいたい。そうした貸し切りの占有が出来る公園は貴重な公園になり、近隣からも利用者がくるのではないかと。	行事については、町内会で催し、収穫祭などのイベントを行うなど、ぜひ地域で使うことで活性化していただければ良いと考えるが、その体制も整える必要があるため、今後の課題であると考え	○	②	

○ テーマに基づく意見交換について → 子どもの遊ぶ場所、扇町1号公園
 (班でテーマを設定)

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
扇町1号公園について。新しい公園を造る際のアンケートについて、一箕小・松長小・一箕中の児童・生徒がどういった公園を希望しているのか考えをまとめ、提案を市に提出することで、公園が出来たときに自分たちの要望でできた公園だという認識になり、思い入れが強くなると考える。	市は、地区の意見を聞く予定だが、意見を集約し、提言をすることも一つの手法だと考える。子どもの考えや目線が大事であり、大人の方々の考えも大事である。そうした声を練り上げていくと、さらにエリアで利用者の年齢によるゾーンの的なものをつくるのが可能となる。子どもの考えを引き出すことは難しいが、ぜひ引き出していただきたい。大変良い考えである。	○	②	

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの